

平成27年度 宮古圏域特別支援研修会

7月30日(木)本校にて、宮古圏域の特別支援教育に関わる方を対象に「特別支援研修会」が開催されました。(参加者：小学校5名、中学校9名、高等学校1名)今回の研修会では本校教諭3名より、在籍する児童生徒の事例を挙げ、障がいのある児童生徒に対して効果のあった指導・支援方法について紹介しました。

後半の質疑応答では、それぞれの学校が抱えている課題について意見交換が行われ、参加者全員で考えていくことができました。

～参加者の皆さんからの感想～

- ・中学校になると「できて当たり前」と思ってしまうことが多くあるので、将来を考えて「たぶんできるだろう」ではなく「きちんとできる」というところまで、支援していくことが大事だなと感じました。
- ・子供達がひとりひとり「そうか」「わかった」「できた」と喜んだり笑ったり出来る姿を目指して今日伺った方法を参考にさせて頂きたいと思います。
- ・学校の命題は「働く大人を作る」ということ、企業の評価も挨拶・返事を重要視するということから、今後親御さんとも具体的に話し合っていかなければならないと改めて思いました。

「小学部1年生を迎えるにあたってPASSを活用した事例・環境整備」

～PASSを活用した引き継ぎ・体験入学で実態把握したことよりできた支援～ 教諭 関山郁美

～myカラーの設定と動線～



～着替え手順カードの活用～



～下駄箱の使い方～



文字認識困難なため、入学当初は顔写真を貼っていた。現在は位置がわかるため、外している。

～上履きの置き方～



「用意した支援がなくてもできる」ということがわかったら、どんどん外していく!



